

## 当社におけるアスベスト使用状況について

平成 17 年 9 月 22 日

帝国石油株式会社

帝国石油株式会社（社長：相岡雅俊）は、今般アスベストに関する従業員の健康被害、社有施設等におけるアスベスト使用状況等を調査いたしましたので、本日まで判明した状況をお知らせします。

### 記

#### 1.調査概要

当社従業員の労災認定事例や健康被害状況について調査するとともに、当社関連施設を対象にアスベスト含有製品の使用状況についても調査いたしました。

#### 2.健康被害状況

当社の従業員および元従業員に関しては、アスベストに起因する労災認定事例はありませんが、これまでの調査では昭和 62 年に 1 名の従業員が中皮腫で死亡していることが判明しておりますので、現在アスベストとの関連性について調査中です。

#### 3.アスベスト使用状況

使用場所	アスベスト含有製品
建築物	ボード、スレート、吹付け材等
生産設備	断熱材、シール/パッキン材
掘削現場	掘削泥水に混入する逸泥防止剤、増粘剤等添加剤

建築物については社宅、寮を含む全ての建築物を対象に調査を行った結果、一部建物については吹付け材が使用されており、材質が特定されていないことから、追加調査を行うと共に飛散の恐れがある建物については結果が出るまで立ち入り禁止措置を行っております。

生産設備及び掘削現場については、調査対象が多岐にわたるため現在詳細を調査中です。なお、掘削現場で使用した掘削泥水に添加剤として使用した量は、昭和 44 年から平成元年にかけて約 300 トンであり、平成 2 年以降は一切使用しておりません。

#### 4.今後の対応

当社は今後もアスベストに起因する健康被害状況と建築物における含有製品の使用状況の把握に努め、必要に応じて飛散防止策を講じてまいります。また、従業員、元従業員ならびにそのご家族を対象に健康診断を実施します。尚、今後の調査結果につきましては適宜公表してまいります。

以上